

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成20年6月5日(2008.6.5)

【公開番号】特開2007-137329(P2007-137329A)

【公開日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2007-021

【出願番号】特願2005-336030(P2005-336030)

【国際特許分類】

B 6 0 R 16/02 (2006.01)

B 6 0 R 16/04 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 16/02 6 1 0 A

B 6 0 R 16/04 W

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月18日(2008.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

短手方向が車両前後方向にほぼ一致し、長手方向が車両幅方向にほぼ一致するように車両に設置され、車両上で高圧電装部品を収容する内部空間を規定し、第 1 部材から形成されたケース体と、

前記ケース体に設けられ、前記第 1 部材よりも大きい強度を有する第 2 部材から形成され、前記ケース体を補強する補強部材と、

前記補強部材に沿う位置に配索されたハーネスとを備え、

前記高圧電装部品は、バッテリーと、前記バッテリーと車両幅方向に並ぶ機器とを含むバッテリーユニットであり、

前記ハーネスは、前記高圧電装部品に接続され、

前記補強部材は、前記バッテリーと前記機器との間を跨ぐように前記ケース体の車両後方側に設けられる、ハーネスの配索構造。

【請求項 2】

前記補強部材は、前記ハーネスが延びる方向に直交する平面で切断された場合に、前記ハーネスに対して前記内部空間に収容された前記高圧電装部品の反対側に配設されている、請求項 1 に記載のハーネスの配索構造。

【請求項 3】

前記補強部材は、前記ハーネスが延びる方向に直交する平面で切断された場合に、前記ハーネスに対して前記内部空間に収容された前記高圧電装部品の反対側で、前記ハーネスに凹部が向くように屈曲している、請求項 1 または 2 に記載のハーネスの配索構造。

【請求項 4】

前記補強部材は、前記ハーネスが延びる方向に直交する平面で切断された場合に、前記ハーネスに対して前記内部空間に収容された前記高圧電装部品の反対側で、前記ハーネスに凹部が向くように湾曲している、請求項 1 または 2 に記載のハーネスの配索構造。

【請求項 5】

前記ハーネスは、前記内部空間に配索されている、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載のハーネスの配索構造。

【請求項 6】

前記ハーネスは、前記内部空間の外側に配索されている、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載のハーネスの配索構造。

【請求項 7】

前記補強部材は、金属から形成される、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載のハーネスの配索構造。

【請求項 8】

前記補強部材は、鋼から形成される、請求項 7 に記載のハーネスの配索構造。